

**小中一貫教育本格実施！ 町内5学園、開園！**

# 小中一貫・CS 通信

NO.8 R1.11.29

幕別町教育委員会 学校教育推進員

中旬の降雪ですっかり冬の景色に変わった11月。小学校の学習発表会・学芸会、各学園の実践交流会が無事終了し、これから2学期のまとめをする時期となりました。15日のさつない学園実践交流会、27日の札内東学園合同研修会には、他学園からも参加があり盛会に終えることができました。本日29日の糠内学園実践交流会の様子は来月お知らせすることになりますが、今月号は二つの学園の研修会の様子を中心にお伝えします。

## さつない学園教育実践交流会！ 札内南小 11/15(金)

11月15日(金)、さつない学園教育実践交流会が札内南小学校を会場に開催されました。札内南小学校の研究テーマ「話したくてたまらない子どもがいる授業の創造～ズレを生かした話し合いを通して～」に基づく算数と国語の授業が公開されました。

1年1組と6年1組では算数の授業が公開されました。それぞれ、子ども達が話したくてたまらなくなるようなしかけがあり、活発な話し合いによる授業が展開されていました。



3年3組と6年3組では、国語の授業が公開されました。いずれも物語文の学習で、読み取ったことを活発に発表する子ども達の姿が見られました。

事後研究会では授業の検討とともに、小中で違う子ども達の発達段階や指導の仕方についても交流され、小中一貫教育が強く意識された研究会となりました。町の実践交流会から役割をしっかりと引き継いださつない学園教育実践交流会、これを機にさらに取組が進むことを期待しています。



## 札内東学園合同研修会開催！ 白人小 11/27(水)

11月27日(水)、札内東学園の合同研修会が白人小学校で開催されました。今回、東学園は従来の実践交流会のスタイルではなく講演会の形で実施しています。東学園では不登校対策を課題の一つとしており、その対応についてみんなで学習する研修会に重きを置くことにしたとのこと。

今回、スクールカウンセラーの板澤有幾さんを講師に招いて、「行動から考える子どものこころ」と題した講話を聞きました。心理士の視点から子どもの行動や心理をとらえる専門的な話は、児童生徒理解の参考になることが満載で、学園の先生方が共通の認識をもつ貴重な機会となりました。

講演会を主管した生徒指導部会を中心に、学園内三校が少しずつ指導の統一性を高め、不登校対策を進めていく、そのきっかけとなる研修会になりました。今後の取組が楽しみです。



裏に続きます

## 「小中一貫教育の肝」を押さえて、取組を進めていこう！

全国の先進事例から見えてくる「小中一貫教育の肝」は、以下の4つだと言われています。町内各学園では、それぞれ進んでいる分野に違いがあり、お互いが学び合うことによって相乗的に取組が発展していくものと思われます。ぜひ、互いの情報を交流して、小中一貫教育をさらに進めていきましょう。

### その1

#### 学習スタンダード & 学習系統表

いわゆる学習のきまりを学園で統一した「〇〇スタンダード」は、小中の単元のつながりを明らかにした系統表とともに、9年間の教育課程を「見える化」するためにぜひとも作成したいもの。

まくべつ学園の「きまり」、糠内学園の「糠内スタンダード」が一步進んでいる。

学習系統表も今年度中に作成の見通しをもちたいところ。

### その2

#### 乗り入れ授業

中学入学前から子ども達の様子を把握できるメリットが大きく、中学校から小学校への乗り入れ授業が多数行われている。

小中一貫教育推進事業の加配を受けている東学園は別格としても、まくべつ学園のように、空き時間を調整して中学校英語教師による外国語授業を計画的に行ったり、算数、理科、体育、音楽などで乗り入れしたりしている。東学園では、理科で小から中への乗り入れ授業も行われている。さつない学園では、長い移動距離にもかかわらず、学期ごとに乗り入れ授業を行っている。

乗り入れの時数の少ない学園は、少しでも増やせるよう検討してみよう。

### その3

#### 6年生中学校登校

中学校生活をいち早く体験する6年生の中学校登校は、中1ギャップ緩和への効果的な取組であり、また保護者・地域に対して目に見える形で小中一貫教育を示す重要な取組になっている。従来の一入の枠を超えて、登校日数を増やすことが必要である。学期に1回行っている東学園、すでに3年目を迎えるちゅうるい学園が進んでいる。

他の学園も入学説明会のある3学期以外にも、中学校登校を計画してみよう。

### その4

#### 広報活動 学園便りの地域配布

「小中一貫教育って、何をやっているの？」と疑問に思う保護者・地域の方がまだ少なくない。宣伝が足りていないと理解も進まないの、広報を進めることが取組の根幹となる。

各学園の状況を見ると、早くから学園便りを地域に配布してきた東学園以外は、あまり進んでいないのが現状。一刻も早く、学園便りの地域配布をしたり、学校だよりやPTAだより等あらゆるお便りに小中一貫教育のコーナーを設けたりするなど、工夫が必要となっている。

喫緊の課題となっているので、すぐに取組を強めよう。

#### 第2回小中一貫教育・CS推進連絡会議

とき 12月17日(火) 19:00より  
ところ 札内コミュニティプラザ集会室

#### 小中一貫教育・CS関係 12月の動き

12月17日(火) 小中一貫・CS推進連絡会議  
12月19日(木) 札内東学園6年生中学校登校